

天満祥典三原市長に対し抗議する決議

昨年7月の参議院議員選挙広島選挙区で初当選した河井案里氏と夫で前法務大臣の河井克行氏が公職選挙法違反の疑いで逮捕された事件で、現金を受け取った疑いを報道されていた天満市長は、令和2年第5回三原市議会定例会最終日の6月23日閉会挨拶で、現金の受け取りを明確に否定された。

その2日後の6月25日に天満市長は記者会見を行い、令和元年3月と6月に合計150万円を受け取ったことを認めて辞職を表明された。

天満市長が6月23日の本会議で自らの行為を偽って述べたことは、議会を甚だ軽視したものであるとともに、市民に対する背任である。退職されてもこの事実が消えるものではなく、本市議会は強く抗議する。

天満市長の一連の言動は日本全国に広く報道され、本市の評判を貶めた。このことにより生じた本市の損害と市民の失望の大きさは測り得ない。天満市長が市長職を退かれた後においても、その責任の重さを自覚され、現金授受に係る真実を語り、その責任を全うされることを、本市議会はここに求める。

以上、決議する。

令和2年6月30日

三 原 市 議 会